

なんでも調べます。探偵事務所

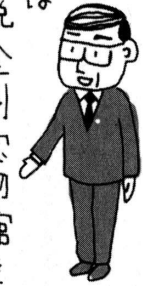
ペン&ギンもどき知リ隊



24時間
御霊地編

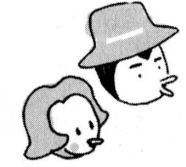
ペン次郎とギン子が疑問に答えます。

解脱金剛宝物館
解脱金剛記念館
を拝見しましょう



次は
解脱金剛宝物館を
拝見しましょう

宝物館!?
お宝!?



鑑定して
もらおう!

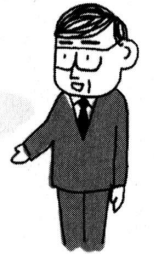
TVに
出れるし

鑑定
ジョー!



まったく
もう

宝物館というのは
金剛さまが生前中に
愛用された品や
金剛さまが会員に
お遺しくくださったものが
保存されているところ
です。



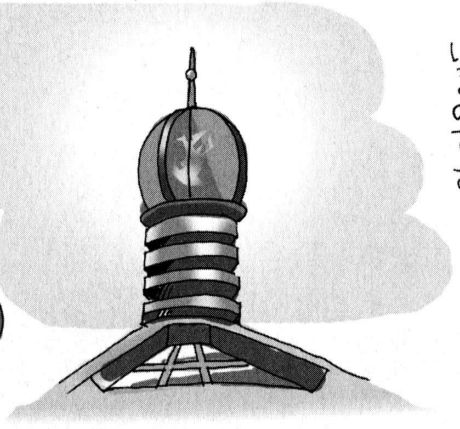
あれが?
屋根の先に
向かあるぞ?



堂々として
立派な
建物ですね



建物の頂上に
金色に輝くものは
御五法が配されて
いるのです。

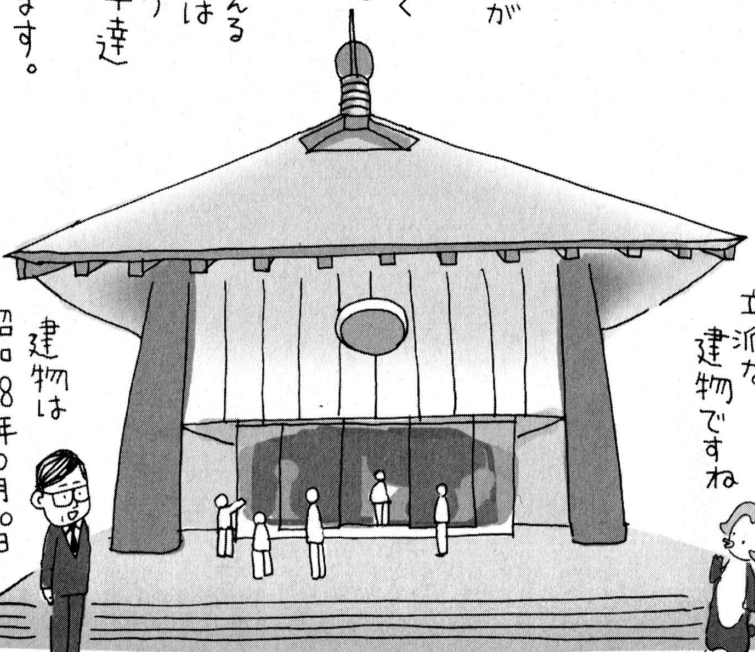


へん
そうなん
ですか?

建物を支える
4本の大円柱は
未来を担う
逞しい若年達
の意思を
表わしています。



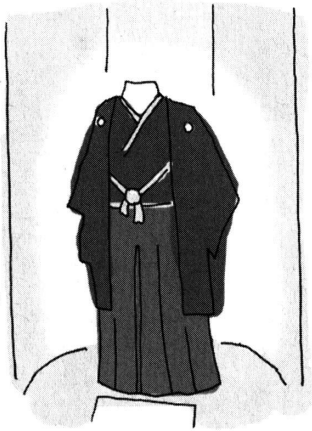
四方に
張り出した
大屋根は
金剛さまの
弟子である
会員一人一人が
大きく社会に
貢献してゆく
姿を表わし
ています。



建物は
昭和48年10月10日
全国会員の真心に
よって完成しました。
それでは中に入りましょう



そうです
皇紀2600年の
祝典に埼玉県を
代表して参加された時に
召した羽織と袴です。



これは金剛さまが
着られたお着物
ですか？



こちらは金剛さまの
御尊像です。



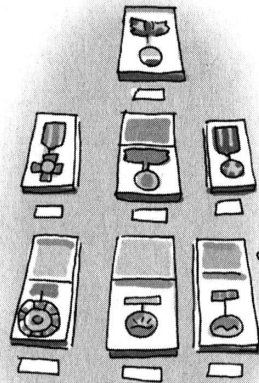
まぎす
2階です

あ、どうも
こんにちは。

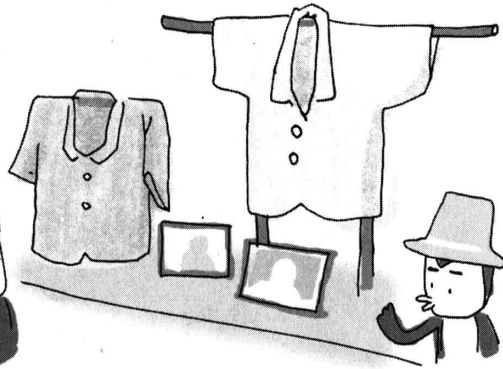
まぎり本物かと...
像 なんですか
いびなりビビッカリ
まるで生きこいる
ようね...

他に金剛さまが
いただいた
勳章が
あります。

いいな、この
コレクション。
レマモの...
そういう趣味のもの
じゃありません！

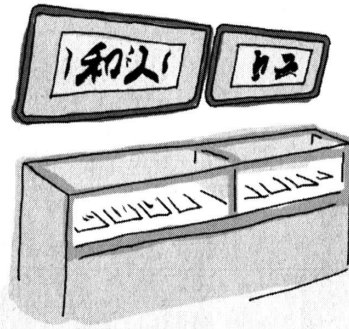


これは直線
モール編という
方法で編まれた
ものです。
頌徳碑の建立の時に
着られたものと同じです。



この鮮やかな紅白の服も？

これらは「御真筆」
として金剛さまの自ら
筆をとられて
書かれたものです。

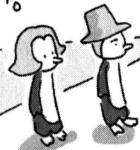


これは？

収蔵宝物は、展示物と
保存されている物を合わせて
三千を超えるそうです。
解脱金剛宝物館は、
これらの品々を通じて
生前中の
金剛さまを
偲ぶことができる
場所です。

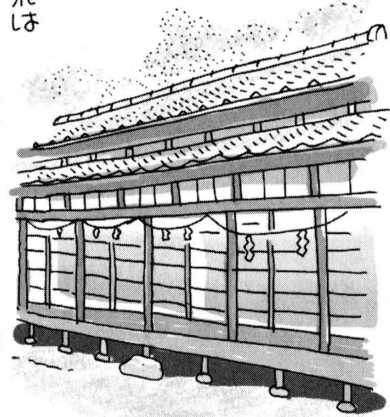


わかる気が
します。



こちらが
解脱金剛
記念館です。

古い
普通の
家だな。



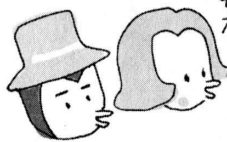
これは
昭和11年に建てられ、
金剛さまが最期を
迎えられた尊い建物です。
その後、当時の形のまま
「解脱金剛記念館」として
保存されています。

金剛さまはかつては
東京に住まわれていたのですね。



そうです。
しかし、
戦争が激化した
昭和19年末、金剛さまは
指道寺員・全員への願いも
受け入れて東京から疎開
されました。それ以後、
この会館は指道寺と学びの
中心となりました。
金剛さまが最後に「ご口演を
されたのもこの建物です。

金剛さまの
おりのお姿
ですね。



この部屋
のベッドで
指道寺員、
たちに看取
られながら
金剛さまは
霊界に旅
立たれたの
です。

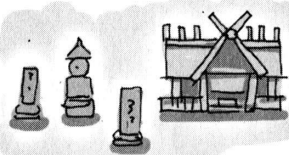


金剛さまは
七十年の直前まで
会館の「指道寺
されたそうです。
金剛さまが生きて
おられた頃の息吹きをも
感じさせてくれるのがこの
解脱金剛記念館なのです。

会館の
ことを思っ
てくださっ
たので
です。



私が御霊地をご案内
するのはこれで
終わりです。



うくん御霊地は
至る所に深い
愛を感じたな

御霊地を

大参りさせて
いただくことは神々さまと
金剛さまの御心に触れる
ことと同じなのです。

また来させて
いただきますよ
何度でも。



解脱金剛記念館 ● 解脱金剛記念館は、昭和十一年七月に、現在の「解脱金剛尊者遷化之居址」の地に建てられたもので元々は「感謝会館」と呼ばれていました。当時は現在の御霊地道場のような活用をされていましたが、昭和十九年末に金剛さまが感謝会館に疎開され、東京道場が焼失する中で、戦中・戦後を通じて教えと活動の中心となりました。
特に戦後は月報も休刊状態であり、金剛さまのご指導とご講話だけが唯一の希望と思う会員が集い、一日十五日の報恩日・感謝日には会館内はもとより庭にも人が溢れました。
金剛さまはこの会館にて御遷化直前まで個人指導を続けられ、ご口演をされました。そして昭和二十三年十一月四日未明、この会館の居室にて御遷化、霊界へと旅立たれたのです。
その後、金剛さまを偲びその偉大なご遺徳を永遠に伝えるため、感謝会館は現在の地に移築され、新たに解脱金剛記念館となりました。記念館は、ありし日の金剛さまの息吹が最も感得できる、尊い建物です。